

【ワールドカップ 2026 の舞台裏】 米国スタジアム・スポーツビジネスの最新潮流

～観戦体験・収益モデル・スポンサー戦略はどう変わったのか～

— 講 師 —

株式会社 MANAGEMENTIVA 代表取締役

(元リアル・マドリード CF コミュニティマネージャー) 酒井 浩之 氏

日 時	2026 年 9 月 1 日 (火)	午後 4 時～ 6 時
受講方法	会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)	
会 場	SSK セミナールーム 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4F	

〔重点講義内容〕

スポーツビジネス大国であるアメリカ合衆国を中心に北中米で開催され大盛況に終わったサッカーワールドカップ 2026。舞台裏では、想像を大きく超えるような事が起こっていたのも事実です。

現地スタジアム周りでは新たな発見となるアクティビティのトレンドが多く確認されました。今までのビジネスと何がどのように変わったのか。それは成功したのか、そうでなかったのか？今後のヒントになることは何か。日本のスポーツ界はどの部分を取り入れるべきなのか？

さらに、注目を浴びた政治との関わり。本来であれば切り分けるべきであると言われてきましたが・・・ワールドカップを事例に最新ビジネス状況をお話しさせていただきます。

1. 何が変わった？ワールドカップ 2026 と最新スポーツビジネス事情
2. アメリカにみる最新スタジアムビジネス事情
3. 日本経済の行末とスポーツビジネスの相関性
4. 日本のスポーツ界は何をすべき？
5. 今後のスポーツビジネス界の展望
6. 国際政治経済とスポーツビジネスの可能性
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 酒井 浩之 (さかい ひろゆき) 氏

1979 年 愛知県生まれ神奈川県育ち。両親の影響で幼少の頃からサッカーに打ち込み、日大在学時より東京都社会人サッカーリーグでプレー。2003 年 日本大学法学部を卒業。卒業後は広告代理店やスポーツブランドに勤務し、2015 年 3 月にリアル・マドリード・スポーツマネジメント MBA コースに日本人として初めて入学。卒業後は同コースから唯一リアル・マドリードに正社員として採用され、アジア市場・日本市場に向けたデジタル・マーケティングに従事し、2017 年に退団。帰国後は構築した世界中のクラブやエージェントとのコネクションを生かし 2018 年に株式会社 HIROSAKAI を設立。2022 年に組織化を図り株式会社 MANEAGEMENTIVA に改名。設立後わずか 1 年で年商 1 億円を突破するなど、業界の注目を集める存在に。今後の日本のスポーツ界を代表するビジネスランナー。

